

VRモード・CPRM対応

7インチ液晶搭載 ポータブル DVDプレーヤー



(ブラック) (シルバー)

製品型番: DS-PP713BK/SV 取扱説明書

各種操作にあたり、特にご注意頂きたい項目を以下にまとめます。

電源を 入れる前に… ▶P12	ピックアップ保護カバーを取り外します。 ディスクトレイを開いた中央部にピックアップ保護カバーが取り付けられています。取り付けたまま電源を入れると機器の破損につながります。記載のページをご参照し電源を入れる前に必ず取り外してください。 ----- 電源起動に関する注意 主電源スイッチが本体側面に設けられています。こちらが OFF になっていると全ての操作は受け付けません。
バッテリーを 使う前に… ▶P14	ご使用前に充電が必要です。 充電時はACアダプタを使用してください。 お買い上げ頂いた時点でバッテリーの電池残量は充分ではありません。ご使用前に充電する必要があります。また、使用によりバッテリー残量が著しく少なくなっている際は電源アダプタをつないでも途中で仕度が暗くなる場合があります。この場合は一旦使用を中断し、充電を完了させてからご使用ください。 バッテリーは可燃物と危険です。本書の内容を充分ご理解頂いた上でご使用ください。
各種メディアを 再生する前に… ▶P16	市販のディスク以外の、レコーダーやPCで 作成したデータの再生について ご自身で作成されたメディアやファイルについては作成環境も多岐に渡るため本書に収録された対応形式であっても再生できない場合があります。デジタル放送を録出した VR モード・CPRM ディスクは読み込みに失敗がなかったり、読取できない場合もあります。

目次

■はじめに P02

ご使用前にご確認ください

1.本体・リモコン各部機能 P08

2.電源／外部機器の接続 P12

各種接続についてまとめてあります。電源の接続、及び内蔵バッテリーの扱いは用法を誤ると大変危険です。ここで紹介する使用法を守り、正しくお使いください。

3.DVD・CD 及び各種メディアの再生 P16

4.セットアップ画面の各種設定 P23

5.故障かな？と思ったら P29

使用上の不具合がある場合は、こちらでご確認ください。

■製品仕様／お問い合わせ P32

はじめに

この度は本製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。本書と保証書をよくお読み頂いた上で、用法を守って正しくお使いください。また、必要なときにお読みいただけるよう大切に保管してください。

セット内容

以下が揃っているかを確認してください。不足品がありましたら弊社までお問い合わせください。また、改良のため予告無く製品内容が変更されることもあります。予めご了承ください。

- DVD プレーヤー本体
- AC アダプタ
- 車載用 DC アダプタ (12V 車専用)
- リモコン
- AV ケーブル
- デジタル音声ケーブル
- イヤホン
- 取扱説明書
- クイックガイド
- 保証書

使用上の注意

- 本製品の AC アダプタの電圧がコンセントの電圧と合っているかを確認してください (AC100-240V)。
- クリーニングする場合、シンナー、ベンジン、アルコール等は使用しないでください。
- 長期間使用しない場合はコンセントを抜いて保管してください。
- 夏の暑い車中や直射日光のあたる場所、火気の近く等、極端に温度の高い場所での使用や放置はおやめください。変形や故障の原因となります。静電気の多い場所やほこりの多い場所、風呂場等の水のかかる場所や湿度の高い場所での使用はおやめください。また、濡れた手で操作をしないでください。ショートによる故障や感電の原因となります。
- 分解や改造は行わないでください。火災、感電、故障の原因となります。ご自身による分解や改造が原因で故障した場合、修理をお断りいたします。
- 落としたり、踏んだり、加重や衝撃を与えないでください。
- 本製品から異臭がしたり、煙が出たり、異常な音がしましたら、電源アダプタをコンセントから抜いて、速やかに弊社サポートセンターまでご連絡ください。
※お問い合わせ先は本書巻末、及び保証書に記載してあります。
- USB 端子を搭載しておりますがストレージ以外の製品 (ワンセグチューナー、通信用装置等) を接続して使用することはできません。またストレージであっても、USB からの電力で駆動する機器は、消費電力が大きすぎるため、使用できない場合があります。
- 液晶パネルは高度な技術で製造されていますが、稀に常時点灯もしくは消灯するドットが存在します。これは故障ではありませんので、予めご了承ください。
- 小さなお子様が電気製品を使用する場合には本製品の取扱を理解した大人の監視、指導

のもとで行うようにしてください。

- コネクタに付属の専用ケーブル以外の異物を挿入しないでください。ショート、感電、発火の恐れがあります。
- この製品は、クラス1 レーザー製品です。レーザーデバイスを装備しているため用法を誤ると人を傷つけたり、機器を損傷したりします。決してレーザー光をのぞいたり、レーザー光に触れたりしないでください。
- 本書の説明と明らかに異なる操作や目的で使用した場合、故障や損傷または身体に及ぶ障害の原因となります、絶対におやめください。この場合、弊社は一切の責任を負えません。

電源供給に関する注意

- 電圧が使用する電源の電圧と合っているかを確認してください。AC100V、車載用アダプタは DC12V 専用です。24V 車 (例、輸入車や大型車等) では使用できません。
- 電源アダプタは十分注意して配線してください。特に電源ケーブルを束ねて使用すると、アダプタや本体に負荷がかかり破損するおそれがあります。
- 配線が切れかかった電源コードは使用しないでください。また、電源プラグはコンセントにしっかりと差し込んでください。ショートによる火災の原因になります。

内蔵バッテリーについて

- お買い上げ頂いた時点でバッテリーの電池残量は充分ではありません。ご使用前に充電する必要があります。また、使用によりバッテリー残量が著しく低下している時は電源アダプタをつないでも途中で画面が暗くなることがあります。この場合は一旦使用を中断し、充電を完了させてからご使用ください。
- バッテリーの充電は、電池残量がなくなった後に行ってください。
- 充電もしくは使用中にプレーヤー本体やバッテリーが異常に熱を持ったり、異臭や発煙、膨張した場合は直ちに使用を中断し、弊社までご連絡ください。尚、上記のような症状が見られた場合は、絶対に使用しないでください。
- 電源コンセントに差しっ放しにする等の過充電を行うと、故障や事故を引き起こす恐れがあります。また、バッテリーの消耗を早める場合がありますのでご注意ください。バッテリーは消耗品です。使用を重ねることで再生可能な時間は徐々に短くなる傾向にあります。
- 自動車のシガーソケットからの充電はしないでください。自動車電源は電圧供給が不安定なため、つないだまま長時間使用するとバッテリーに負担をかけます。バッテリーの電池残量が多い時や充電完了の合図の後にはシガーソケットから外してお使いください。
- 保管場所にご注意ください。直射日光の当たる場所や炎天下の車内、火のそば、ストーブの前など的高温になる場所や、湿度の高い場所での使用・放置をしないでください。保管に際してはプレーヤーから電源アダプタを取り外し、常温で湿気の少ない場所に置いてください。
- バッテリーを含む本製品の廃棄は、お住まいの自治体で定められている方法で正しく行ってください。

移動中や、お車でのご使用について

- 移動・運転中の視聴および操作は大変危険ですとおやめください。本体は運転に支障をきたさない位置に設置してください。車種によっては取り付けができません。
- 誤った電源を使用すると故障やショートの原因となります。車載用アダプタをご使用の際は本製品とお車との電圧・電力・極性が合っていることをご確認ください。付属のDCアダプタは12V車専用です。24V車(例、輸入車や大型車等)では使用できません。
- 自動車のエンジン始動時は、シガーソケットからの電源供給が不安定です。本製品を車載で使用する場合、DCアダプタを差し込んだままエンジンを始動すると、DVDプレーヤー本体に無理な負荷をかけ故障の原因となる場合があります。機器の接続は、エンジンがかかった状態で行なってください。また、電源分配機に接続していると電源供給が不安定なため正常に動作できない場合があります。
- 自動車からの電源供給によるバッテリーの充電は、電圧が不安定なこともありバッテリーに著しく負担をかけます。自動車シガーソケットから電源供給を行なう場合は、バッテリーが満タンになったらシガーソケットから外してお使いください。
- 真夏・真冬の車内等、過酷な状況下での使用や置き去りは故障や事故の原因となり、非常に危険です。絶対におやめください。

DVD や CD 及び各種メディア再生について

- 光学ヘッド（ディスクを読み取るレンズ）には触れないでください。
- ディスクトレイにはDVD、CD以外の異物を挿入しないでください。また、USBスロットやSD/MMCスロットに異物を挿入しないでください。
- ディスクをセットする時は1枚だけを使用し、読み取り面を下にして中央のコネクタにカチッと音がするまで差し込んでください。
- CD-R/RW、DVD-R/RW及び各種メディアを使用する場合は、ファイルの種類または作成されるレコーダーやPC等の互換性やデータの保存方式によって再生できないものがあります。そのためすべてのメディアの再生は保証できません。
- 本機で再生する前に、必ず作成したレコーダーでファイナライズ処理をしてください。
- 大きいサイズのデータや大容量メディアについては読み込みがもたついたり、認識できない場合があります。
- デジタル放送を録画したVRモード・CPRMのディスクは読み込みに時間がかかったり、記録状態によっては認識できない場合もあります。

ディスクの取り扱いについて

- ディスクを持つ時は、記録部分には触れず、ディスクの端を挟んでお取り扱いください。指紋、ホコリ、傷等は、ディスクの読み飛ばしやゆがみの原因となります。
- ディスクのラベル面にボールペン等で書き込まないでください。
- ディスクを曲げたり落としたりしないでください。
- お手入れをする時は軽く水で湿らせた布を用い、内周から外周に向かって拭いてください。

リージョンコード

DVDソフトおよびプレーヤーには、市場シェアを守る目的からリージョンコードという規格が設定されております。DVDのコンテンツを表示させるためには、DVDのリージョンコードと、DVDプレーヤーのリージョンコードが同じでなければなりません。

※本製品のリージョンコードは2です。2以外のリージョンコードが設定されているDVDソフトは再生できません。



リージョン 1	アメリカ・カナダ
リージョン 2	日本・欧州・中東・南アフリカ・エジプト
リージョン 3	東アジア・東南アジア・香港
リージョン 4	オーストラリア・中米・カリブ諸国・南米
リージョン 5	ロシア・北朝鮮・モンゴル・南アジア・アフリカ諸国
リージョン 6	中国

本書中の以下の用語は、それぞれ各社の登録商標です

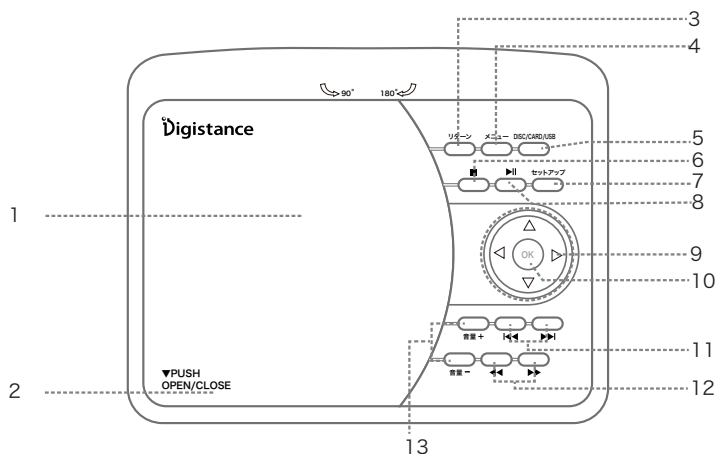
- マークはDVD-Videoの統一マークです。
- マークは、ビデオCD、オーディオCDの統一マークです。
- ドルビー、ドルビーデジタル、Dolby、およびダブルD記号 は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

予めご了承ください

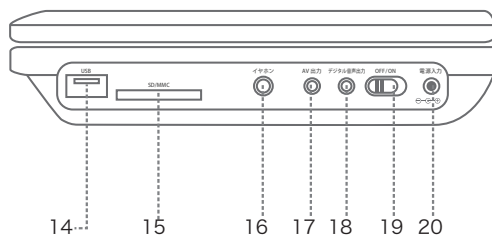
1. 本書の内容、本製品の仕様・外観等については、将来予告なしに変更する事があります。
2. 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不明な点や誤りなど、お気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
3. 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、弊社に無断での使用はできません。
4. 万一、本機使用により生じた損害、取扱説明書記載以外の使用方法による故障・損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、弊社では一切その責任を負えませんので、予めご了承ください。
5. 接続機器との組み合わせによる誤作動等から生じた故障や損傷に関しましては弊社では一切の責任を負えませんので、予めご了承ください。
6. 地震や雷等の自然災害・火災・第三者からの行為・その他の事故・お客様の故意または過失、誤使用、その他の明らかに異常な条件下での使用によって生じた故障や損傷等の損害に関しましては当社では一切の責任を負えませんので、予めご了承ください。
7. 故障、修理、その他の理由に起因する損害および、逸失利益につきまして、弊社では一切の責任を負えませんので、予めご了承ください。
8. 保証書への購入日・購入店の記載のないもの、保証書に記載された内容に相違のある場合等、当社では一切の責任を負えませんので、予めご了承ください。
9. 本製品は、一般家庭内でのご使用を目的として製造されております。業務用（店頭ディスプレイ・営業宣伝活動での使用等）として、もしくは個人でも極端に長時間連続で使用を続けた場合には保証の対象外となります。また、日本国内での使用を前提として製造されていますので、海外でのご使用やそれに対する保証やサポート対応はできません。

1 本体・リモコン 各部機能

本体前面



本体側面

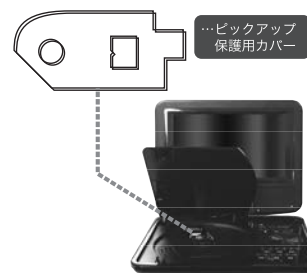


各部機能の紹介

No.	名称	機能
1	ディスクトレイ	DVD、CD を挿入します。ご購入頂いた時点では、ピックアップユニット部分（ディスクのデータを読み取る機械）に保護用のカバーが装着されています。ご使用前に必ず取り外してください。
2	OPEN/CLOSE ボタン	この部分を押す事で DVD、CD を挿入するディスクトレイの蓋を開閉します。
3	リターン	タイトルメニュー画面に戻ります。（データ再生時）上のフォルダへ戻ります。
4	メニュー	ディスクメニュー画面を表示します。DVD ソフトによっては対応していません。
5	DISC/CARD/USB	読み込みメディアを切り替えます。
6	停止	再生を停止します。1 度押した場合は再生位置を記憶して停止します。次回再生ボタンを押すと停止させた場面から再開します。2 度押すと再生位置の記憶は消去され、次回再生ボタンを押した場合は一番初めから読み込みます。
7	セットアップ	各種設定を行うセットアップ画面を表示します。
8	再生/一時停止	メディアを再生します。再生中にボタンを押すと一時停止し、もう一度押すと再開します。
9	方向	セットアップ画面等で項目を選択するときに使います。
10	ENTER（決定）	セットアップ画面等で選択項目を決定するときに使います。
11	頭出し	次/前のチャプターに進み（戻り）ます。
12	巻戻し/早送り	巻戻し、早送りを行います。ボタンを押す毎に再生速度が切り替わります。
13	音量	音量を調節します。
14	USB スロット	USB メモリを挿入します。
15	SD/MMC スロット	SD/MMC を挿入します。
16	イヤホン出力	イヤホンを接続します。
17	AV 出力	外部機器を接続して使用する場合に付属の AV ケーブルを挿入します。
18	デジタル音声出力	付属のデジタル音声ケーブルを用い、スピーカーセットに接続します。
19	主電源スイッチ	本体主電源の ON/OFF を切り替えます。視聴時には ON、未使用時とバッテリー充電時は必ず OFF にしてください。
20	電源入力	電源アダプタを接続します。

[ピックアップカバー]

ご購入頂いた時点では、ディスクトレイ内にピックアップ保護用のカバーが装着されています。電源を ON にする前に取り外してください。

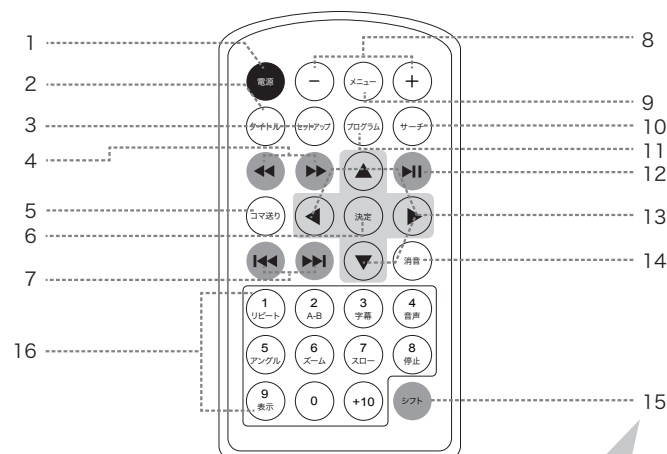


[ディスプレイ部の回転機構]

正面向かって左側に 180°、右側に 90°回転が可能です。それ以上の角度に無理に回転させないでください。



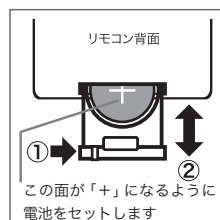
リモコン／各部名称と機能



【シフトボタンによる機能の切り替え】：リモコンの数字ボタンは、シフトボタンを押す毎に「数字入力モード／機能モード」に切り替わります。



リモコン用電池の装着、交換



- ①リモコンを裏面にし、リモコンの底部左側にある爪を右に押します。
- ②爪を押したまま、底部中央の切り込みをつまんで手前に引き出します。電池のトレイが引き出されます。
- ③電池を交換します。セットするボタン電池は「+」と書かれている面が表です。裏表を間違えないようにしてください。電池のトレイをリモコンに差し込んで戻します。

No.	名称	機能
1	電源	電源のオン／オフを切り替えます。主電源スイッチが OFF になっていると機能しません。
2	タイトル	DVD ソフトのタイトルメニューを表示します。
3	セットアップ	各種設定を行うセットアップ画面を開きます。
4	巻戻し／早送り	巻戻し、早送りを行います。ボタンを押す毎に再生速度が切り替わります。
5	コマ送り	再生中にコマ送りボタンを押すと一時停止します。その後はボタンを押す毎に 1 コマずつ動きます。
6	決定	主にセットアップ画面等で、選択した項目の確定に使用します。
7	頭出し	次／前のチャプターに進み（戻り）ます。
8	音量	音量を調節します。
9	メニュー	DVD ソフトにより動作は異なりますが、通常はタイトルボタンもしくはメニューボタンのどちらかで DVD ソフトのタイトルメニュー画面を表示させます。また、DVD ソフトによっては操作できない場合があります。
10	サーチ	DVD 再生中に指定の「タイトル／チャプター／時間」にジャンプできます。
11	プログラム	再生プログラムを作成し、指定した順番で再生させます。
12	再生／一時停止	通常再生を行います。再生中に押すと、一時停止します。
13	方向	主にセットアップ画面等で使用し、選択項目を上下左右に移動させます。
14	消音	ボタンを一度押すと一時的に音声出力を消します。もう一度ボタンを押すと消音状態は解除されます。
15	シフト	ボタンを押す毎に「数字入力モード／機能モード」のボタン機能を切り替えます。
16	数字	パスワード等の数字入力時や再生中に指定したタイトルにジャンプする時に使用します。[0～9]：1桁の番号入力時に使用します。[+ 10]：2桁以上の番号を入力する時に 0～9 ボタンと組み合わせて使用します。 (例：31 と入力したい場合は…+ 10 ボタンを 3 回押した後、1 ボタンを押します)
17	リピート	繰り返し再生を行います。チャプター／タイトル／全ての繰り返し再生を行います。
18	A-B	任意に指定した区間を繰り返し再生します。A-B ボタンを一回目に押した始点 (A) から二回目に押した終点 (B) の間を繰り返し再生します。
19	アングル	複数のアングルが収録された DVD の再生中に、映像アングルを切り替えます。対応していない DVD では無効です。
20	ズーム	DVD 再生中、画面の一部を拡大表示します。ボタンを押す毎に倍率が切り替わります。また、拡大中は方向ボタンを押して表示領域を移動させることができます。
21	表示	再生中のチャプターや経過時間等の現在情報を表示します。
22	音声	複数の音声を収録した DVD の再生中に音声言語を切り替えます。DVD ソフトによっては音声ボタンによる切り替えに対応していません。この場合は、DVD ソフトのタイトルメニュー画面から切り替えてください。
23	字幕	複数の字幕を収録した DVD の再生中に字幕言語の種類、及び字幕の有無を切り替えます。DVD ソフトによっては字幕ボタンによる切り替えができません。この場合は、DVD ソフトのタイトルメニュー画面から切り替えてください。
24	停止	再生中に押すと停止します。停止ボタンを 1 度押した場合は再生位置を記憶して停止し、次回再生ボタンを押した時は、止めた場面の続きから再生が始まります。停止ボタンを 2 度押すと再生位置は記憶されません。
25	スロー	遅いスピードで再生します。押す毎に再生速度が切り替わります。

* DVD ソフトによっては上記の通りに機能しない場合があります。

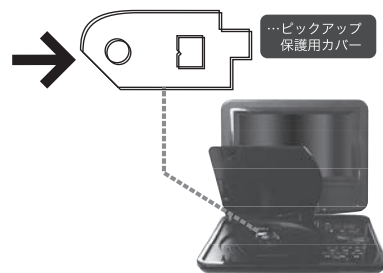
【注意】：リモコン電池について

- ※リモコンの電池は、ボタン型リチウム電池 (CR2025) です。製品付属の電池は動作確認用になります。通常ご使用分は、別途ご用意ください。
- ※初めてリモコンを使用する場合は電池トレイの底面に透明なプラスチックの絶縁フィルムが挟み込まれていますので、それを引き出してから使用してください。
- ※長期間本製品を使用しない時はリモコンの電池を取り出して保管してください。

2 電源／外部機器の接続

保護カバーの取り外し

出荷時の状態では、ディスプレイ内に保護カバーが装着されています。そのまま電源を入ると機器の破損や故障につながります。電源スイッチを ON にする前に必ず取り外してください。



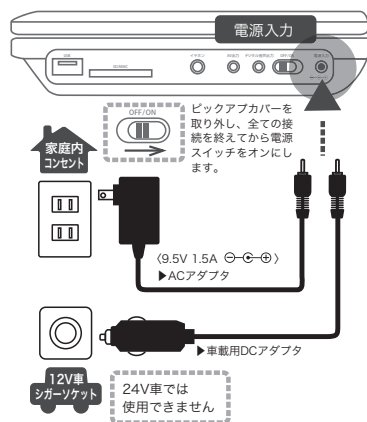
①電源の接続 ～ 電源アダプタからの電源供給

右図を参考に電源接続をしてください。

※ご使用にならない時は必ず電源の接続を外してください。

【車載ご使用時の注意】：電源仕様が24Vの車ではご使用になれません。また、エンジン始動時は電源供給が不安定です。接続時はエンジンのかかった状態で行ってください。

【電源が入らない？】：内蔵バッテリーの電池残量が低下していると電源アダプタを接続しても画面が暗くなることがあります。その場合は一旦使用を中断し、充電後にお使いください。



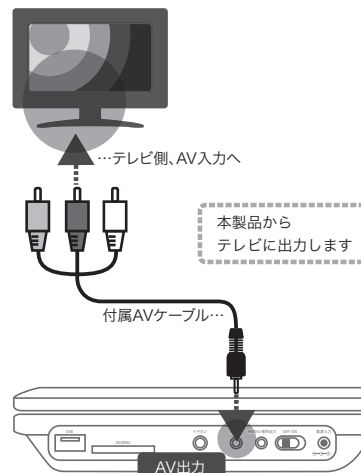
②外部機器との接続

本製品を、その他機器と接続してお使いになる場合の接続です。本製品を単体でお使いになる場合は、ここで紹介する接続の必要はありません。

出力する

本製品で再生している映像を外部機器に出力する場合の接続です。大画面でDVDを観賞したいとき等に便利な機能です。

付属の AV ケーブルを使って、本製品側面の「AV 出力」とテレビ側の対応する入力端子を接続します。

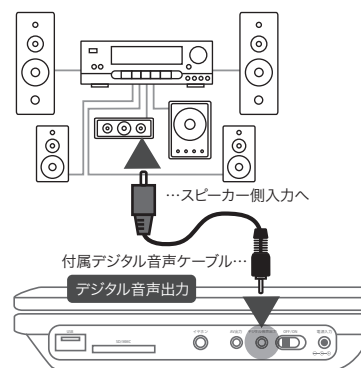


※接続したテレビ側で外部入力モード（ビデオ1等）に切り替える必要があります。
※プレーヤー本体と外部出力時の音量は連動します。

③スピーカーセットとの接続

デジタルオーディオアンプに接続してデジタル音声を出力することができます。接続には、製品付属の「デジタル音声ケーブル」を使用します。

5.1ch に対応している DVD で、本機のセットアップ画面より「音声」>「SPDIF 設定」設定項目から、「RAW」を選択しますと、5.1ch サラウンドで再生されます。

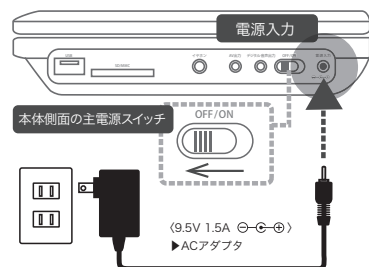


- セットアップ画面の「音声」>「SPDIF 設定」設定項目の「SPDIF 出力」で「SPDIF OFF」が選択されていると、デジタルアンプから音声が出ません。
- プレーヤーの音量と外部出力の音量は連動します。プレーヤーの音量を 0 にすると、接続スピーカーからも音声が出ません。
- デジタル音声出力中も、プレーヤー本体のスピーカーから音声が出ます。

④バッテリーの充電と再生

バッテリーは用法を誤ると、故障や事故につながり大変危険です。ここで紹介する充電・再生方法をご覧頂き、充分にご理解頂いた上で用法を守って正しくお使いください。

バッテリーの充電



充電所要時間：約 115 分 * 1

バッテリーを使った再生

バッテリーを充電してバッテリーからの電源供給で駆動させる場合は、必ず AC・DC アダプタ等、電源の接続を解除してお使いください。

再生時間：約 115 分 * 1

【手順 1】：充電時は必ず家庭用コンセントから付属の AC アダプタを用い、電源スイッチをオフにして行ってください。



【手順 2】：電源接続後、本体の充電ランプが赤く点灯して充電が始まります。充電完了後にランプが消灯します。完了後、電源アダプタを外してください。



※ 1：充電・再生時間は使用状況によって上記時間とは差が出ます。記載の時間はあくまでも目安です。

【充電・再生に関する注意】：

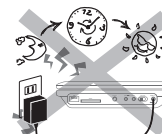
- DC アダプタ、及び自動車の電源からの充電は絶対にしないでください。
- 充電終了後、コンセントにつないだままにしておくと過度な電源供給が行われ、大変危険です。充電ランプが消灯したら、速やかに電源アダプタの接続を解除してください。

【誤った使い方の事例】：

…用法を誤るとバッテリーの発熱・破裂等を生じ、故障や事故につながる可能性もあり大変危険です。こちらに示すような使い方は、絶対にしないでください。



充電完了後、電源アダプタを差したまま使用すると過度な電源供給が行なわれ、大変危険です。



バッテリーの過度な充電は危険です。コンセントに差しっ放しで外出しないでください。



充電完了後や電池残量が多いときは、シガーソケットの接続は解除してください。



バッテリーを含むプレーヤー本体を過酷な環境に置き去りにしないでください。

3 DVD・CD 及び 各種メディアの再生

電源を入れる

電源を ON にする前に必ずピックアップ保護カバーを取り外してください。装着したまま電源を入れると内部機器が破損してしまいます。

本体側面の主電源スイッチを「ON」にすると液晶画面が起動します。



① DVD を再生する

⚠️ 〈再生ディスクに関する注意〉

※ディスクトレイ内部に CD や DVD 以外のものを入れないでください。

※本製品は「リージョン 2」に対応しています。

2 以外のディスクの再生はできません。



※ DVD-RAM は再生できません。DVD レコーダーやパソコンで作成したディスクはファイナライズを行っていないと再生できません。

また、作成ディスクについては全てのディスクの再生は保証できません。作成ディスクは再生中の一部操作が機能しない場合もあります。

※ VR モード・CPRM 規格等のデジタル放送を録画したディスクは読み込みに時間がかかったり、記録状態によっては認識できない場合もあります。

※再生中の一部機能はリモコンのシフトボタンを押し「機能」モードの切り替えた後に操作が可能になります。また、再生ディスクの仕様によっては一部操作を受け付けられない場合もあります。

…上記をご確認いただいた上で、以降 DVD 再生中の操作についてご紹介します。

DVD をセットする

DVD を再生します。本体のディスクトレイオープンボタンを押し、ディスクトレイを開きます。ディスクをセットし、ディスクトレイの蓋を閉じるとディスクの再生が始まります。



●タイトルメニューの表示

複数のタイトルを収録した DVD では読み込むと、まず DVD タイトルメニューが表示されます。メニュー画面内では方向ボタンで項目を選択し、決定ボタンで確定すると再生が始まります。再生中にメニューまたはタイトルボタンを押すと、DVD タイトルメニューにジャンプします。



参考：DVD ソフトのタイトルメニュー画面の例

※ DVD によってはメニュー・タイトルボタンを押しても機能しない場合があります。

●再生と一時停止

ディスクの再生中、再生ボタンを押すと一時的に再生を停止します。もう一度再生ボタンを押すと一時停止は解除され、続きから再生が始まります。

●音量調節と消音

音量調節は音量＋／－ボタンで行ないます。リモコンの消音ボタンを押す毎に、消音／出音が切り替わります。

※消音時とイヤホン挿入時は、本体のスピーカーから音声は出力されません。

●頭出し

再生中にスキップボタンを押すと、次もしくは前のチャプターを頭出します。

●停止

再生中に停止ボタンを一度押すと再生位置を記憶したまま停止します。この状態で再生ボタンを押すと、停止した場面から再開します。再生中に停止ボタンを 2 回押すと再生位置の記憶は消え、次回再生をした時はディスクの最初から読み込みます。

●スロー再生

遅い速度で再生します。スローボタンを押す毎に、再生速度が切り替わります。

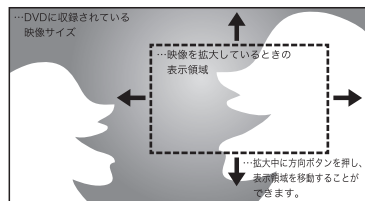
●早送り／巻き戻し

再生中に早送り／巻き戻しボタンを押す毎に、再生速度が切り替わります。

※スロー・早送り・巻き戻し再生中は音声出力されません。

●拡大と縮小

再生中の映像を拡大・縮小します。ズームボタンを押す毎に、映像の拡大・縮小倍率が切り替わります。また、映像拡大中に上下左右方向ボタンを押すと、拡大表示領域を移動することができます。



●リピート

再生中のチャプターやタイトルを繰り返し再生します。リピートボタンを押す毎に、繰り返し方が次のように切り替わります。
〈チャプタを繰り返し→タイトルを繰り返し→全てを繰り返し→繰り返し解除〉

●リピート A-B

任意に指定した区間を繰り返し再生します。リピート A-B ボタンを押すと繰り返し区間の始点 A を指定、続けて押すと終点 B を指定します。終点 B を指定した直後、指定区間の繰り返し再生が始まります。繰り返し再生中、もう一度リピート A-B ボタンを押すと繰り返し再生が解除されます。

※スロー・拡大・リピート操作はシフトボタンを押して「機能」モードの時に動作します。

※リピートの仕様は再生するディスクの収録内容によって差があります。

●指定場面の再生/サーチ

再生中に指定のチャプターや時間にジャンプします。サーチボタンを押す毎にサーチ画面の表示と非表示が切り替わります。方向ボタンで指定したいチャプター/時間項目を選んだ後に数字ボタンを使って入力します。



●プログラム再生

タイトル/チャプターを指定したプログラムを作成し、任意の順序で再生します。プログラムボタンを押す毎に、プログラム画面の表示/非表示が切り替わります。T列にタイトルを、C列にチャプターを数字ボタンを使って入力します。プログラムは20番目まで指定することができます。プログラムを作成したら画面下段の「スタート」を選択して決定ボタンを押すと、プログラム再生が開始されます。プログラムを削除するにはプログラム画面を表示させて「中止」を選択し、決定ボタンを押します。



※ VR モード・CPRM ディスクでは機能しません。

●アングルの切り替え

場面により複数のアングルが収録されている DVD では、画面にアングル切り替えが可能なことを示すマークが表示されます。このとき、アングルボタンを押す毎に映像アングルを切り替えることができます。

※複数のアングルが収録されていない DVD ではアングル切替はできません。

●字幕言語の切り替え

…字幕が収録されている DVD の再生中は字幕ボタンを押す毎に字幕の言語、及び表示の有無を切り替えることができます。

●音声言語の切り替え

…複数の音声収録されている DVD の再生中は、音声ボタンを押す毎に音声言語を切り替えることができます。

※字幕・音声言語は次の方法で切り替えができます。

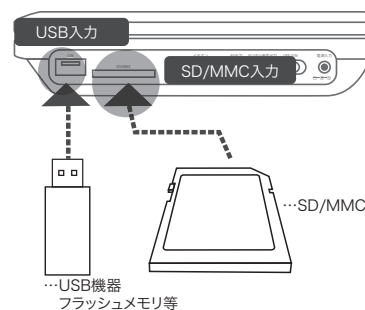
- ①本機のリモコンの字幕、もしくは音声ボタンによる切り替え。
 - ②本機のセットアップボタンで表示される、設定画面内での切り替え。
 - ③再生中 DVD ソフトの、タイトルメニュー画面内での切り替え。
- …DVD によっては、上記いずれかの方法が使用できない場合もあります。

② CD を再生する

音楽 CD や、データ CD を再生します。本体のディスクトレイオープンボタンを押し、ディスクトレイを開きます。ディスクをセットし、ディスクトレイの蓋を閉じると再生が始まります。

③ USB 及び各種メディアの再生

通常はプレーヤーに各種メディアを挿入すると自動的に読み込み始め、次頁図 A のメディア再生一覧画面が表示されます。自動的にメディア再生一覧画面が表示されない場合はプレーヤー本体の DISC/CARD/USB ボタンを押すと DISC、USB、CARD の読み込みモードが順に切り替わりますので任意に切り替えてください (未認識メディアはスキップされます)。



⚠ 各種メディア再生の注意

- PC やレコーダーを使い、ご自身で作成したメディアは互換性により再生できないものもあります。画像、音声や映像ファイルは応用範囲も多岐に渡り、規格内容も複雑です。ファイル形式や圧縮コーデックのバージョンにより、正しく再生できない場合があります。再生前に録画機器でファイナライズ処理を行なってください。
- 英数字のファイル名のみに対応しています。日本語や長過ぎるファイル名は文字化けします。
- 一部の音楽 CD に採用されている著作権保護を目的としたコピーコントロール CD は再生できない場合があります。
- メディアカードや USB ストレージの読み出しスピードが遅いため動画の再生がもたつく場合があります。
- 大きいサイズのデータや大容量メディアを再生させる時は読み込むまで時間がかかる、もしくは認識できない場合もあります。
- 地上デジタル放送を録画した VR モード・CPRM 規格のディスクは読み込みに時間がかかったり、記録状態によっては認識できない場合もあります。
- ファイル名の先頭に「.」の付いた不可視ファイルが存在すると正常に読み込めません。PC で削除してから読み込ませてください。
- 複数メディアを同時に挿入すると誤動作を起こす場合があります。再生させるメディア以外は取り外してお使いください。

【メディア再生一覧画面の操作】

メディア再生一覧画面では、画面左側に読み込んだメディアの中身（フォルダやファイル）が一覧で表示されています。オレンジ色に反転している項目が選択中であることを表しています。

再生させたいフォルダやファイルをリモコンの上下方向ボタンで一覧から選び、決定ボタンを押すことで再生、もしくは下の階層に進みます。また、上の階層に戻る時はリモコンの左ボタンを押してください。

補足: 図 A のように写真 (PHOTO) や音楽 (MUSIC)、映像 (MOVIE) 等のファイル種毎にフォルダ分けをして管理することで操作性が高まります。次ページからの操作解説については上記のファイル種毎のフォルダ管理を前提に記載してあります。

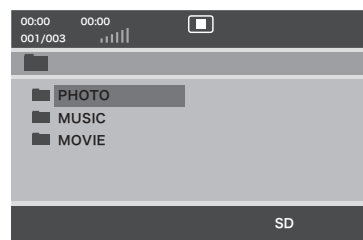


図 A. メディア再生一覧画面

【写真ファイルの再生】

メディア再生一覧画面（図 A）から写真ファイルのある階層まで進んでください（図 B）。

ファイル名先頭のアイコンはファイルの種類が写真であることを表します。

画面右側には選択中の写真がプレビュー表示されます。一覧から再生させたい写真ファイルを上下方向ボタンで選び、決定ボタンを押すと写真のスライドショー再生が始まります（図 C）。



図 B. 写真ファイルの一覧画面

スライドショー再生中の操作

スライドショー再生は認識した写真を一定間隔で切り替え、順に表示します。スライドショー再生中のリモコンでの操作は次の通りです。

▶一時停止

再生ボタンを押す毎にスライドショーの一時停止と再開が切り替わります。

▶前後ファイルの表示

頭出しボタンを押すと前後ファイルが表示されます。

▶回転と反転

左右方向ボタンを押す毎に表示画像が90°ずつ回転します。また、上下方向ボタンを押すと表示画像が水平もしくは垂直方向に反転します。

▶サムネイル表示

停止ボタンを押すと図 D の写真サムネイル画面が表示されます。サムネイル画面では視覚的なファイル選択が可能です。方向ボタンでファイル選択後に決定ボタンを押すとスライドショー再生に、メニューボタンを押すと一覧画面に戻ります。これらは画面下部の操作部からも操作が可能で、Prev/Next は前後ページへの移動を表しています。



図 C. 写真スライドショー再生画面



図 D. 写真のサムネイル表示

▶写真再生の終了

メニューボタンを押すと図 B の一覧画面に戻ります。

4 セットアップ画面の各種設定

【音楽ファイルの再生】

メディア再生一覧画面（図 A）から音楽ファイルのあるフォルダ階層まで進んでください（図 E）。ファイル名先頭のアイコンはファイルの種類が音楽であることを表します。再生させたい音楽ファイルを上下方向ボタンで選び、決定ボタンを押すと音楽再生が始まります。

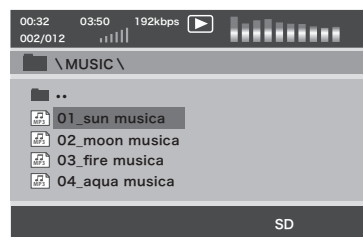


図 E. 音楽ファイルの一覧画面

音楽再生中の操作

▶一時停止

再生ボタンを押す毎に音楽再生の一時停止と再開が切り替わります。

▶停止

停止ボタンを押すと再生が止まります。

▶頭出しと早送り／巻き戻し

頭出しボタンを押すと前後ファイルが頭

出しされます。また、早送り／巻き戻しボタンを押す毎に送り／戻し速度が段階的に変化します。早送りと巻き戻し中は音声は出力されません。

▶音量

音量ボタンで音量の調節、消音ボタンで出音と消音を切り替えます。

【映像ファイルの再生】

メディア再生一覧画面（図 A）から映像ファイルのあるフォルダ階層まで進んでください（図 F）。ファイル名先頭のアイコンはファイルの種類が映像であることを表します。再生させたい映像ファイルを上下方向ボタンで選び、決定ボタンを押すと映像再生が始まります。

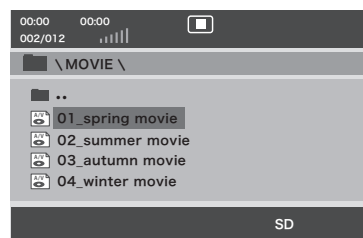


図 F. 映像ファイルの一覧画面

映像再生中の操作

▶一時停止

再生ボタンを押す毎に映像再生の一時停止と再開が切り替わります。

▶停止

停止ボタンを 2 回押す、もしくはメニューボタンを押すと映像ファイル一覧画面に戻ります。

▶頭出しと早送り／巻き戻し

頭出しボタンを押すと前後ファイルが頭出しされます。また、早送り／巻き戻し

ボタンを押す毎に送り／戻し速度が段階的に変化します。早送りと巻き戻し中は音声は出力されません。

▶音量

音量ボタンで音量の調節、消音ボタンで出音と消音を切り替えます。

▶時間表示

再生中の画面右上に経過時間が表示されます。時間表示の有無は表示ボタンを押すことで切り替わります。

設定画面内の操作

セットアップボタンを押す毎に各種設定を行なうセットアップ画面（下図）の表示と非表示が切り替わります。

【設定画面内で主に使用するボタン】

方向ボタンを使って項目を選択し、決定ボタンで選択項目を確定します。

【操作手順】

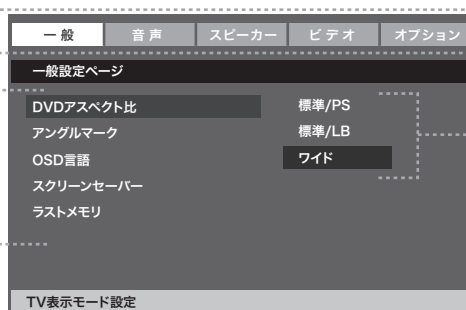
1. 設定カテゴリーを選ぶ（下図 A）
2. 設定したい項目を選ぶ（下図 B）
3. 設定を切り替える（下図 C）

【設定が可能なカテゴリ】

・ 一般設定	P24
・ 音声（オーディオ設定）	P25
・ スピーカー	P26
・ ビデオ設定	P26
・ オプション（選択）	P27

A 設定カテゴリーを選ぶ

画面上部の黄色く反転しているものが現在選択中のカテゴリーです。「方向ボタン」の左右で設定カテゴリーを選択後、「決定ボタン」で確定すると画面下段のリスト（B 部分）に緑色の選択枠が表示されます。



B リストから設定したい項目を選ぶ

画面左部のリスト内で緑色に反転しているものが現在選択中の項目です。「方向ボタン」の上下でリストから設定したい項目を選択後、「決定ボタン」を押すと画面右側（C 部分）に緑色の選択枠が移動します。また、「左方向ボタン」を押すことで画面上部のカテゴリー選択に戻ります。

C 設定を切り替える

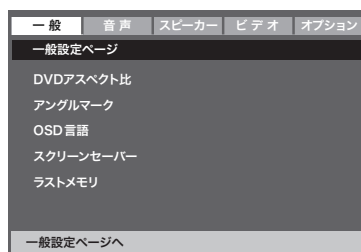
緑色の選択枠がリスト部（B）にある時に、画面右側 C 部で赤色に反転しているものが現在設定されている仕様です。B 部分のリストから設定したい項目を選択後に「決定ボタン」を押すと、選択を示す緑色の反転が C 部分に移動します。「方向ボタン」の上下で項目を選択後「決定ボタン」を押すと設定が切り替わります。

①一般設定

[DVD アスペクト比]

テレビ画面に出力する時の表示方法を切り替えます。

- ・標準 /PS…16 : 9 の比率の映像の左右を隠し、拡大して表示させます。
- ・標準 /LB…映像比率はそのままに全体を縮小後、上下の余白に黒帯を表示させます。
- ・ワイド…4 : 3 の映像を 16 : 9 の比率で表示させます。



DVD ソフトによってはいずれかに対応しないことがあります。

[アングルマーク]

アングルマークの表示（オン）と非表示（オフ）を切り替えます。

[OSD 言語]

本セットアップ画面で表示させる言語を日本語もしくは英語（English）から選択します。

本書は OSD 言語で「日本語」が選択されている状態を想定して作成されています。英語表示に対応した取扱説明書のご用意はありません。

[スクリーンセーバー]

画面焼き付き防止の設定を行ないます。オンに設定すると停止状態で一定時間経過後にスクリーンセーバーが作動します。スクリーンセーバー状態からの復帰はリモコンのいずれかのボタンを押すことで元の画面が表示されます。

[ラストメモリ]

ラストメモリのオンとオフを切り替えます。オンを選択すると電源をオフにしたり、ディスクを出し入れした後でも続きから再生されます。

再生ディスクを取り替えると、ラストメモリはリセットされます。

②音声（オーディオ設定）

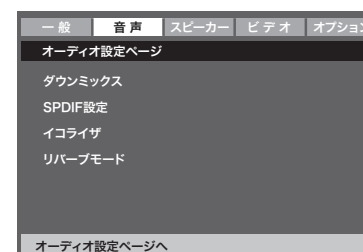
[ダウンミックス]

5.1 サラウンド音声のリア ch の出力方法を選択します。

- ・LT/RT…リア ch 音声を混合して出力します。
- ・ステレオ…左音声は左から、右音声は右から出力されます。

[SPDIF（デジタル音声出力）設定]

「SPDIF 設定」を選択後、決定ボタンを押すと SPDIF 設定ページが表示されます。SPDIF 設定ページでは以下項目の設定が可能です。



SPDIF 出力

- ・SPDIF OFF : デジタル音声出力を行いません。
- ・RAW : デジタル音声出力を行います。
- ・SPDIF/PCM : DolbyDigital のデジタル音声をリニア PCM に変換して出力します。

LPCM（リニア PCM）出力

- ・48K
- ・96K

[イコライザ]

「イコライザ」を選択後、決定ボタンを押すとイコライザー設定画面が表示されます。イコライザー設定画面では以下項目の設定が可能です。

サウンドモード

- ・無し
- ・ロック
- ・ポップ
- ・ライブ
- ・ダンス
- ・テクノ
- ・クラシック
- ・ソフト

バスブースト

- ・オン
- ・オフ

スーパーバス

- ・オン
- ・オフ

クリアーブースト

- ・オン
- ・オフ

[リバーブモード]

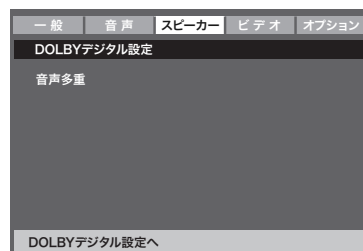
選択された場所にいるような擬似的な音響効果が得られます。

- ・オフ
- ・コンサート
- ・リビングルーム
- ・ホール
- ・浴室
- ・地下
- ・アリーナ
- ・教会

③スピーカー

【音声多重】

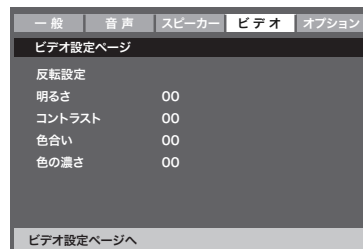
音声多重放送をDVDにダビングした場合、ここで主音声・副音声を切り替えることができます。



④ビデオ設定

【明るさ～色の濃さ】

各項目選択後に決定ボタンを押すと各々の調節画面が表示されます。左右方向ボタンで数値を調節後、決定ボタンを押すと調節画面が閉じられます。



【反転設定】

反転を選ぶと画面表示が180°回転されます。

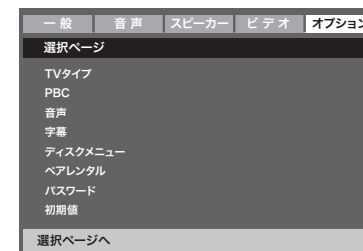
⑤オプション

【TVタイプ】

国別で採用されているテレビシステムを選択します。

・PAL ・マルチ ・NTSC

接続する外部機器に合わせて設定します。日本国内で採用されているテレビシステムはNTSCです。通常はNTSCを選択してください。



【PBC】

ビデオCD再生時における、PBC（プレイバックコントロール）機能のオンとオフを切り替えます。

【音声】

DVD再生時の音声言語を選択します。

・英語 ・フランス語 ・スペイン語 ・中国語 ・日本語
・韓国語 ・ロシア語 ・タイ語 ・その他

【字幕】

DVD再生時の字幕言語を選択します。

・英語 ・フランス語 ・スペイン語 ・中国語 ・日本語
・韓国語 ・ロシア語 ・タイ語 ・オフ ・その他

【ディスクメニュー】

DVD再生時の画面使用言語を選択します。

・英語 ・フランス語 ・スペイン語 ・中国語 ・日本語
・韓国語 ・ロシア語 ・タイ語 ・その他

【補足】：音声・字幕言語については本製品のリモコンボタンでも切り替えが可能です。DVDソフトによっては本製品での切り替えが無効になる場合があります。その場合は、DVDソフトのメニュー画面から切り替えを行ってください。

【ベアレンタル (ベアレンタルロック)】

視聴年齢制限の設定を行います。数字が小さいほど年齢制限が厳しくなります。設定された年齢制限を超えた DVD は再生できません。また、ここで設定を切り替える時にはパスワードを入力するか、パスワードモードをオフにする必要があります (次項目の「パスワード」を参照)。

- ・ 1 KID SAFE …幼児がご覧になっても問題ありません。
- ・ 2 G …お子様がご覧になっても問題ありません。
- ・ 3 PG …お子様にとって不適切なシーンがあります。
- ・ 4 PG13 …13 歳以下の方にとって不適切なシーンがあります。
- ・ 5 PGR …17 歳以下の方にとって不適切なシーンがあります。
- ・ 6 R …17 歳未満の方は保護者の同伴がないとご覧になれません。
- ・ 7 NC17 …17 歳未満の方はご覧になれません。
- ・ 8 アダルト …18 歳以下の方はご覧になれません。

ここで年齢制限の設定を行っても、DVD ソフトの作成状態によっては無効になる場合があります。

【パスワード】

「パスワード」を選択後、決定ボタンを押すとパスワード設定画面が表示されます。パスワード設定画面では以下項目の設定が可能です。

パスワードモード

パスワードを打ち込んでパスワードモードのオン/オフを切り替えます。「ベアレンタル (視聴制限)」の設定を切り替える際、パスワードをその都度入力するか、事前にパスワードモードをオフにする必要があります。出荷時のパスワードは「136900」です。数字を打ち込んで決定ボタンを押す毎に、オンとオフが切り替わります。

パスワード

パスワードを変更します。項目「パスワード」を選択し、続いて「変更」が選ばれた状態で決定ボタンを押すとパスワード変更画面が表示されます。パスワードを変更するには、旧パスワードと新パスワード、(新)パスワードの確認欄でそれぞれ 6 桁の数字を入力後、最下段の「OK」で決定ボタンを押してください (出荷時のパスワードは 136900 です)。

【初期値】

初期値→リセットを選択して決定ボタンを押すと各種設定が出荷時の状態に戻ります。

5 故障かな？ と思ったら

本製品が正常に動作しない場合は、こちらのトラブルシューティングをお読みください。不具合の原因と、その解決方法を確認することができます。

巻頭に記載の注意書き、および本章をお読みになっても問題が解決されない場合は、保証書の内容をご確認の上、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

本体が起動しない

- 本体側面の主電源スイッチが ON になっているかを確認してください。電源ランプが点灯していなければ配線を確認してください。
- お買い上げ頂いた時点でバッテリーの電池残量は充分ではありません。ご使用前に充電する必要があります。また、使用によりバッテリー残量が著しく低下している時は電源アダプタをつないでも途中で画面が暗くなることがあります。この場合は一旦使用中断し、充電を完了させてからご使用ください。

バッテリーの駆動時間が短い

- ご購入後、はじめてご使用になる場合は充電をしてください。
- バッテリー駆動時間は、使用状況により差が出ます。必ずしも、本書に記載している通りの時間とは限りません。また、バッテリーは使用を重ねるごとに劣化し、使用可能な時間は徐々に短くなります。

音声や映像が途切れる

- バッテリー駆動時は電池残量が少なくなると音声や映像が適切に出力されない場合があります。電源アダプタを本体に接続し正常に出力される場合は充電してください。

映像は出るが音声が出ない

- 次の時本体スピーカーから音声は出力されません。音量が 0 の時/消音ボタンが押されている時/イヤホンを接続している時。
- 早送り/巻戻し、スロー、コマ送り、一時停止中は音声が出ません。

画面が反転している

- 映像反転する機能が備わっています。セットアップ画面 (→ 26 ページ参照) から操作してください。

リモコンが効かない

- プレーヤー本体の主電源スイッチは ON になっていますか？
- 電池は正しくセットされていますか？
- 出荷時の状態で電池トレイの底面に透明の絶縁フィルムが挟み込まれています。取り外してからお使いください。また、付属のリモコン用電池は動作確認用です。このためすぐにバッテリー切れになる場合がありますので通常ご使用になる分は別途ご用意ください。使用する電池はボタン型リチウム電池（CR2025）です。
- リモコン操作は本体のリモコン受光部に向けて行ってください。プレーヤーとリモコンの距離が離れている、もしくは間に障害物がある場合はリモコン操作が効きません。

リモコンの字幕・音声ボタンを押しても言語が変更できない

- DVD の仕様によってはディスクメニューでのみ切り替えが可能です。
- 複数の音声や字幕を収録していない DVD は変更ができません。

再生できない

- ピックアップカバーは取り外しましたか？
- ディスクに汚れや破損はありませんか？
- 光学ヘッド（ディスクを読み取るレンズ）が汚れていませんか？
- ディスクが裏面になっていませんか？ レーベル面を上にして、ディスクをセットしてください。
- DVD レコーダーやパソコンで作成したディスクを使用する場合、互換性によって再生できない場合があります。日本国内でレンタルまたは販売されている DVD が再生できるかを確認してください。また、ファイナライズを行っていないディスクは再生できません。
- DVD-RAM はサポートしておりません。
- 温度差によって結露が生じている場合があります。数時間温度になじませてから再生を試みてください。
- 再生可能な DVD のリージョンコードは 2 です。その他のリージョンコードを持つ DVD は再生できません。

【デジタル放送を録画したディスク】：

- デジタル放送を録画した VR モード・CPRM ディスクは読み込みに時間がかかったり、認識できない場合もあります。

【コピーコントロール CD (CCCD)】：

- 一部の音楽 CD で著作権保護のために用いられている CCCD は、正式な CD 規格に準拠していない特殊なディスクです。再生については読み込めない、または正常に再生されない場合があります、すべての CCCD の再生は保証できません。

【USB デバイスが再生できない】：

- フォーマットが MS-DOS (FAT) 形式に対応しており、それ以外のフォーマットは読み込みできません。
- バスパワーで動作する USB 機器の場合、電力が足りずに動作できない場合があります。
- ドライバが必要な USB デバイスは使用できません。
- USB ストレージ、またはメモリーカードの読み込み速度が遅いため、再生に追いついていないことが考えられます。また、大きいサイズのデータや、大容量メディアを再生させる時は読み込むまでに時間がかかる、もしくは認識できない場合もあります。
- 複数のメディアを同時に挿入すると、誤作動を起こす場合があります。再生中のメディア以外は取り外してお使いください。

【ファイル名に関する補足】：

- 半角英数字の表示に対応しています。日本語や特殊記号等のファイル名は文字化けや認識エラーも生じます。
- 挿入メディアに不可視ファイルが存在すると認識不具合が生じます。PC 上で削除してから本機に挿入してください（例：ファイル名の先頭に「.」のついたものや、薄いグレーで表示されるファイル）。

【ファイルの診断】：

- 挿入メディアとその中身のファイルは PC にて定期的に診断やウイルスチェックを行ってください。破損したデータの入ったメディア及びウイルス感染したメディアは読み込めなくなるだけでなく、本機や接続 PC の不具合を招きますのでご注意ください。

テレビと接続しても、映像や音声为正しく出ない

- テレビ側の接続部は、適切な入力端子に繋がれていますか？ また、テレビの入力切り替えは行なわれていますか？
例：ビデオ 1・2、外部入力等。詳細は接続機器の取扱説明書をご覧ください。
- 本体の音量がゼロになっていると、接続機器から音声は出力されません。
- 異なるテレビシステムでは映像を正しく出力できません。テレビシステムは地域毎に異なり、日本では NTSC 方式を採用しています。通常は NTSC を選択してください。

表示が外国語になっている

- セットアップ画面内で表示言語の切り替えが可能です。「セットアップボタン」を押して表示されるセットアップ画面内で、「OSD LANGUAGE」を選択し、「日本語」を選択してください。

画面が勝手に暗くなる

- セットアップ画面内でスリープセーバーを「オン」にしている時はディスク停止状態で一定時間操作が無いと、黒い背景のスリープセーバー画面が起動します。復帰させる時はリモコン操作をしてください。

製品仕様／ お問い合わせ

製品型番	DS-PP713BK/SV
本体色	BK：ブラック、SV：シルバー
液晶パネル	7 インチ 480×234pixel、輝度 =350cd/m ² 、コントラスト比 =500：1、視野角 = 上下 45°、左右 65°、表示色数 =1,677 万色、応答速度 =30ms、バックライト寿命の目安 ≒ 10,000 時間
DVD プレーヤー	周波数特性： DVD (PCM48KHz 再生時) = 4Hz-22KHz (±1dB) DVD (PCM96KHz 再生時) = 4Hz-44KHz (±1dB) CD：31.5Hz ~ 16KHz (±3dB)
再生メディア	DVD、DVD-R/RW、CD、CD-R/RW、USB、SD/MMC
再生可能ファイル	画像ファイル…:jpg 音声ファイル…:mp3 映像ファイル…:avi / .mpg (映像コーデック)：mpeg1/mpeg2 (音声コーデック)：mp2/mp3 [注意：コーデックやファイル形式の組み合わせによって再生できないものもあります]
S/N 比	≧ 85dB
入出力端子	電源入力、USB、SD/MMC、AV 出力、デジタル音声出力、イヤホン出力 (3.5φ)
スピーカー	2W×2
本体サイズ	206 × 161 × 38mm (横幅 × 奥行 × 厚さ)、内蔵バッテリー含む：690g
電源	家庭用 AC100V-240V 50 - 60Hz、AC 電源アダプタ：9.5V、1.5A
消費電力	5W / 待機時 0.3W
内蔵バッテリー	リチウムイオンバッテリー 電圧：7.4V、容量 1,300mAh
	充電時間…約 115 分、動作時間…約 115 分 [記載の時間は目安であり、使用状況により差があります]
動作環境	温度：-10 ~ 45℃
製造国	中国

※製品の仕様は改良のため予告無く変更する場合があります。また、再生ファイル形式や挿入メディア、動作環境については上記仕様表と合わせて本書記載の注意をご覧ください。

製造元

株式会社 ゾックス

〒231-0033 神奈川県横浜市中区長者町 3-8-13 TK 関内プラザ 304

TEL：0120-602-302

ホームページ <http://www.zox-net.com>

お電話でのお問い合わせは：月～金曜日の 10 時～17 時

※土・日曜日、祝祭日はお休みを頂いております。